



2018年3月30日

## 「省エネルギーと劣化を考慮した中長期修繕計画作成支援サービス」の提供開始

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、3月30日から、建物所有者を対象に、「省エネルギーと劣化を考慮した中長期修繕計画作成支援サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始します。

### 1. 背景

建物の耐用年数が60年の場合、設備機器（以下「機器」）の耐用年数は20年程度になります。そのため、建物が使用され始めてから解体・廃棄されるまでに機器を2回更新することになります。日常的に機器を維持・管理していても、耐用年数を経過する、あるいは耐用年数に近づくと、機器の故障時に部品を交換するだけでは機能を回復できず、機器の更新が必要となることがあります。また、建物は継続して使用されているため、緊急対応的な更新工事などで費用がかかる場合があります。建物所有者は建物の中長期修繕計画を作成し、建物を計画的に維持・管理する必要があります。

建物の中長期修繕計画は、竣工時の設備仕様をもとに作成されます。しかし、建物の使用条件は竣工時から変化し、現在の設備システムが最適ではない場合があります。また、設備システムも、陳腐化などにより、別の設備システムを導入することが望ましいこともあります。特に近年では、地球温暖化問題などによりエネルギー消費量およびCO2排出量を削減して環境に配慮することが企業に求められており、またエネルギーの消費先である機器の更新時はエネルギー効率を高める機会でもあることから、機器を更新する際には機器の省エネルギー性を十分に検討する必要があります。

こうした背景の下、SOMPOリスクアでは、本サービスの提供を開始することとしました。

### 2. 本サービスの概要

SOMPOリスクアの専門コンサルタントが建物における現状のエネルギー使用、機器の運転および劣化の状況などを診断して機器の中長期修繕計画作成を支援し、建物所有者の建物管理・エネルギー管理への取組みをサポートします。以下メニューの①②（「省エネルギー診断業務」「劣化診断業務」）を合わせて提供することで物理的・機能的な劣化の回復に加え、エネルギー効率の向上が可能となり、お客さまは、中長期の修繕計画を進める中で、省エネルギー対策をすることができるとともに工事費用を抑制することが可能です。

(1) メニュー（詳細については<別紙>をご参照ください。）

- ①省エネルギー診断業務
- ②劣化診断業務
- ③中長期修繕計画作成

（ご要望により、お客さまが省エネルギー対策で行う機器更新工事後の効果検証もします。）

(2) 特長

- ①建物および設備に精通した一級建築士、技術士、建築設備士などの資格を有するSOMPOリスクアの専門コンサルタントが担当します。
- ②SOMPOリスクアは平成29年度から環境省のCO2削減ポテンシャル診断事業の診断機関として事業場における設備の導入・運用状況などを調査・計測し経済性の高いCO2削減対策を提案しており、その知見を活かし支援します。

(3) 費用・期間 (\*1)

【1】費用

100万円（税抜）～

【2】期間

3ヶ月～6ヶ月

\*1 規模や支援内容により異なります。

3. 受注目標

年間10件、1,000万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

SOMPOリスクケアは、本サービスを通じて、建物所有者の省エネルギーおよび省CO2削減体制の強化を支援し、皆さまの地球温暖化対策活動に貢献してまいります。

SOMPOリスクケアマネジメントについて

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「健康指導・相談事業」「メンタルヘルスケア事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、健康経営推進支援、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部  
CSR・環境事業部 [担当：橋本、諏訪部]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5973（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社  
経営企画部 [担当：田所]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙>本サービスのメニューの詳細

メニュー	内容
①省エネルギー診断業務	・「建物の現状の確認」 竣工図等をもとに建物の設備仕様を確認します。 ・「エネルギー管理状況の把握」 エネルギー使用量（電気、冷温水等）の計量記録を把握します。 ・「現地調査」 機器の使い方などをヒアリングし、機器の運転状況および設置状況を確認します。 ・「省エネルギー対策提案」 上記を踏まえて省エネルギー対策を提案します。
②劣化診断業務	・「現地調査」 機器の状況、配管・ダクト・ケーブルの劣化・支持状況を確認します。 ・「修繕計画の作成」 機器の状況を確認し、配管・ダクト・ケーブルの法定耐用年数をもとに修繕計画を作成します。
③中長期修繕計画作成	上記①、②を踏まえて機器の中長期修繕計画の作成を支援します。